パモジャ
PAMOJA
第42号
青年海外協力隊　巣守　世那
２０２６年　９月２１日発行

タンザニアの布がかわいい！

タンザニアでは、至る所にテーラーさんがいます。自分で買った布を持っていき作ってほしい型をオーダーすると、サイズを図ってくれて自分にぴったりの服を仕立ててくれます。日本でオーダーメイドの服を作ろうと思ったら高くてなかなか手が出ませんが、タンザニアではお手頃な価格で作れるので、タンザニアに来てたくさんの服を仕立ててもらっています。テーラーさんによりますが、シャツやスカート、ズボンだけなら１着300円～１200円ほど、ワンピースだと１着600円～１800円くらいで作れます。

現地の人は最近だと古着を着ている人も多いですが、祝日やお祈りに行く時などは仕立てた服を着ています。デザインが人それぞれ違っていてみんな似合っているので、道ですれ違う度「こんな服も作りたいな～」と想像力が掻き立てられます。今は、こんなに布を買って持って帰れるか不安です。





どの布が好きですか？



私の同僚でテーラーの
Malele

服を作るにあたって大事なのが、布選びです。本当にたくさんの布が売っているので、どれが自分に似合いそうか考えて選ぶだけで3時間くらい経ってしまいます。

布は大きく分けて4種類ありますが伝統的な布は KITENGE（キテンゲ）、KANGA（カンガ）、BATIKI（バティキ）です。

★KANGA（カンガ）

スワヒリ語の格言やメッセージ（JINA）が印字された布。このメッセージを通して、感謝や愛、相手に自分の思いを伝えます。腰に巻いたり、頭にかぶったり、赤ちゃんをおんぶや抱っこしたりするときなど色々な場面で使われています。

★KITENGE（キテンゲ）

カンガよりも分厚くしっかりした布で、JINA は書かれていません。連続した幾何学模様や動物、植物などの色鮮やかな柄が特徴です。カラフルな布で仕立てた服を着ると、ウキウキした気分で一日を過ごせます。

★BATIKI（バティキ）

ロウ（蠟）を使って模様を描いたり、ハンコ型で模様をつけたりして、染料に浸して染色する伝統的なろうけつ染めの布です。



行事の時には、
みんなでおそろいの服を仕立てることも



Hata ukinichukia la kweli nitakwambia.

たとえあなたが私のことを嫌ったとしても、私は本当のことを伝えます。









